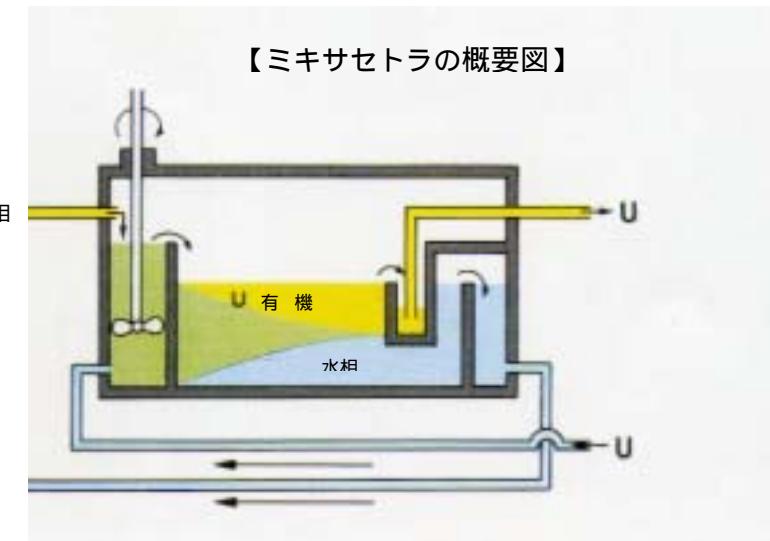


精製建屋では、ウラン溶液を1月28日に受け入れ、設備の調整および性能（抽出性能など）の確認試験を実施しています。

ウラン溶液は模擬ウラン燃料集合体をせん断・溶解して得られたものと、ウラン粉末を溶解したものを用いています。

ミキサセトラ：形状は箱型。水槽と有機相<sup>\*1</sup>をかくはん機によって混合するミキサ部と両相を分離するセトラ部で構成されている。有機相と水相の混合・分離が繰り返えされることによって抽出<sup>\*2</sup>が行われる。



\* 1 水相と有機相；水相とは硝酸ウラン溶液のこと。

有機相は、リン酸トリブチル(TBP)を希釀剤(ノルマルドデカン)で約30%に希釀した溶媒である。

希釀剤(ノルマルドデカン)で希釀するのはTBPに適度な粘度、比重を与えるためである。

\* 2 抽出と逆抽出；溶液中の物質は、酸濃度あるいは酸化状態(原子価)等によって、水相中もしくは有機相中における存在のしやすさが変化する。この性質を利用し、水相中の物質を有機相中に移動させることを抽出、有機相から水相へ移動させることを逆抽出という。